

日経、新たな英文ニュース「Nikkei Markets」 アジアで開始～市場・Asia300の動き発信

日本経済新聞社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：岡田直敏）は4月3日、シンガポール子会社の日経グループアジア本社（本社：シンガポール）を通じ、新たな英文ニュース「Nikkei Markets（ニッケイマーケット）」のサービスを開始しました。東南アジアの株式市場、上場企業の動きを速報するもので、「日経アジア300指数」や、日経が選んだアジアの有力企業「Nikkei Asia 300」についての情報発信が広がります。3日に始めたのはマレーシア市場向けのサービスで、今後シンガポールや、香港での事業展開を予定しています。

日経は2013年に英文媒体 Nikkei Asian Review を創刊して以来、アジア発のニュースの英語での発信を強化してきました。Nikkei Markets はインドのニュースベンチャー、ニューズライズ社（本社：ムンバイ）との提携事業で、Nikkei Asian Review にも一部記事を提供しながら、よりプロフェッショナルのための英文サービスとしての発展を目指します。日経傘下の英フィナンシャル・タイムズ紙と併せ、日経はグローバルメディアとしての発信を今後も強化していきます。

■「Nikkei Markets」の概要

事業主体：日経ニューズライズアジア社（本社：シンガポール）。日経グループアジア本社とニューズライズ社の合併会社です。

サービス内容：各地の株式市場の概況、日経アジア300指数の動き、上場企業の発表などの速報ニュースのほか、値動きの背景、読み筋など独自の分析を朝から夜まで提供します。当面はマレーシアの投資家を主な対象としますが、他の市場向けにも順次情報を拡充し、販売を拡大していきます。当初はクアラルンプール、シンガポール、香港に取材拠点を置きます。

▼サービスの詳細や問い合わせ、お申し込みはこちら（英文）

<http://nikkeinewsrise.com>

日本経済新聞社について

日本経済新聞社は1876年以来、約140年にわたってビジネスパーソンに価値ある情報を伝えてきました。主力媒体『日本経済新聞』の発行部数は現在約273万部で、約1300人の記者が日々、ニュースを取材・執筆しています。2010年3月に創刊した『日本経済新聞 電子版』の有料会員数は50万超、有料・無料登録を合わせ約335万になっています。

本件に対する問い合わせ

日本経済新聞社 広報室 TEL:(03)3270-0251 (代表)